ゆうひ

《発行》　第２００号
神辺地域振興課（神辺支所内）
電話　084-962-5026
「ゆうひ」は、福山市ホームページでもご覧いただけます。

かんなべストリートフェスティバル開催



【日時】11月1日(日)10:00～15:00
【会場】川南1号幹線(JR神辺駅より徒歩5分)

神辺町商工会青年部が企画・運営する「かんなべストリートフェスティバル」が今年も開催されます！
神辺駅西側の再開発が進む川南1号幹線を舞台に、神辺周辺の魅力が大集合！神辺の未来を一足先に見つけに行こう。

イベントの詳細は右記二次元コードからご確認ください。

神辺地域振興課もワークショップを行います。
ぜひ、ご来場ください。

第９回地域遺産フォーラムin神辺開催



11月14日(土)　フォトコンテスト表彰式＆神辺遺産認定式＆鼎談
10:00～　神辺交流館
11月15日(日)　「地域を歩く・見る・聞く・食べる」
神辺遺産スタンプラリー＆かんなべマルシェ
10:00～　神な備－旧松本家住宅－、JR神辺駅東口駅舎内・駅前、各地区の遺産

同時開催　古山コスミコラボEXHIBITION ／かんなべ市民交流センター
11月10～30日　神辺フォトコンテスト2026／神な備－旧松本家住宅－
神辺の魅力写真展 A Joint Initiative with 湯田小学校／JR神辺駅自由通路

神辺フォトコンテストの応募も10月31日まで募集中です！

川南わくわく公園で「みんなで育てる公園フェスタ」を開催しました。





イベント内で神辺西中学校の生徒が描いた公園利用の啓発看板の設置及び福山北特別支援学校の生徒が地域の廉塾バラを愛する会の指導を受け育てた廉塾バラの苗を植樹を行いました。
これからも公園をみんなで楽しく使っていきましょう。

神辺中学校生徒による椅子作品展開催

神辺中学校3年生が総合的な学習の一環として「憩いの場をつくる～公共の椅子のデザイン～神辺の人と人、地域と人をつなぐ公共の椅子とはどのようなデザインだろうか？」においてデザインした椅子をかんなべ市民交流センターエントランスに展示中。10月30日まで。

みんな来てね

『親子でにっこり　川南わくわく公園』

1　とき・内容

2026年１０月２７日（火）「読書の日」

１４：００　集合

１４：１０～　おはなし会（絵本の読み聞かせなど）

１４：４０～　表現あそび（指絵の具）



2　ところ

川南わくわく公園（福山市神辺町川南）

3　さんかしゃ

【対　象】乳幼児と保護者
【参加費】無料
【申込み】不要（当日、直接来てね！）
【持ち物】なし（汚れてもよい服装、必要な方は飲み物等）
【駐車場】公園隣接地に確保
【その他】途中参加、途中退場も歓迎





4　主催

神辺地域振興課（☎962－5025）・神辺図書館

5　その他

悪天候時は中止。その際は、市HPでお知らせします。

ふくやま人権大学2026

ふくやま人権大学は、人権文化が根付いた地域社会の実現に向けて、「人権」について学習し、さまざまな角度から啓発内容を創造することのできる地域リーダーを養成する講座です。

「障がいのある人もない人も 壁のないまちへ」

～「障害者差別解消法」ができて10年、社会は変わった？これからどう変える～　（全2回）

①11月１８日（水）　●「障害者差別解消法」について
●「これが見えない壁だったんだ！」当事者の思い・体験

②11月２５日（水）　● 施設を見て回り、みんなが使いやすいよね！」を見つけてみよ
● グループワーク

●会場　大和建設まちテラス（中会議室）（福山市草戸町五丁目１２－２４）
●時間　19時～20時30分　●定員　各回　５０人

「憲法が問いかけるもの」　～公布から80年～　（全2回）

①12月　３日（木）　●「憲法と私たちの暮らし」
②12月17日（木）　●「私たちの人権は守られている？～憲法の条文と合わせて考えてみよう～」
● グループワーク

●会場　まなびの館ローズコム　４階　中会議室（福山市霞町一丁目１０－１）
●時間　①１９時～２０時３０分
●講師　客本　牧子さん　●定員　各回　５０人

いずれも 【参加無料】【要申込】　※手話や要約筆記が必要な場合は、事前にご相談ください。

【主催・問合せ・申込】多様性社会推進課　TEL 084-928-1006　FAX　084-928-1229

「新日本」の誓いを読み直す



11月3日。日本国憲法公布80年という節目を迎える。

この節目の年にあらためて条文を開き、その冒頭に置かれた「上諭(じょうゆ)」と「前文」を読み返していくと、そこには戦火の記憶が生々しく残る時代にあって、そこから立ち上がろうとした先人たちの、切実なまでの気概が満ちていることに気づかされる。

憲法本文の前に置かれた「上諭」は、昭和天皇の言葉としてこう結ばれている。

「朕は、日本国民の総意に基いて、新日本建設の礎が、定まるに至つたことを、深くよろこび、枢密顧問の諮詢及び帝国憲法第七十三条による帝国議会の議決を経た帝国憲法の改正を裁可し、ここにこれを公布せしめる。」

世間では時に、草案を造ったGHQから「押し付けられた憲法」という論調で語られることがある。しかし、この上諭を読めば、歴史的な正当性と法的連続性を持った「帝国憲法に基づく正当な改正」として公布されたという動かしがたい事実が立ち現れてくる。

クーデターや革命といった法的な断絶を避け、国民の代表が集う帝国議会で審議し、修正を重ね、最後は天皇が裁可する――。旧憲法の形式を借りながらも、その中身として「国民主権」と「平和主義」を明確に打ち立てる。この滑らかで理路整然とした道筋こそ、敗戦の混乱の中にあって「新日本」建設の礎を定めた、当時の日本人による最高度の政治的叡智だったのではないだろうか。

続く「前文」には、世界に向けて誇らかに掲げられた崇高な誓いが並ぶ。

「日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。」

「日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。」

世界情勢が緊迫感を増す今日、この前文や九条に示された平和主義を「現実離れした絵空事だ」と冷笑する風潮は根強い。確かに、戦火の絶えない世界の現実と憲法が掲げる理想の間には、大きなギャップが存在している。

しかし、国家の名誉にかけた誓いを、「理想通りにいかないから」という論理で語ることには、いささか疑問を呈しないわけにはいかない。

理想に届いていないからと諦めてしまうのは容易い。だが本当に必要なのは、絵空事と嘲ることではなく、先人たちが立てたその「誓い」に向けて、私たちがこの80年という月日の中でどれだけの努力を積み重ねてきたのか、そしてこれからもどのように努力していくのかを問い直す当事者意識ではないだろうか。

国家の名誉にかけて誓った新「憲法」。その「誓い」の重みを、いま一度、自らに問い直してみたいと思う。

☘ 藤坂 真治 ☘

【訂正】ゆうひ１９９号の「ゆうひのまちから」の６～７行目の表現についてご指摘をいただきました。「かつては完治した者さえ渡ることを許されなかった長島大橋」は正式には「邑久長島大橋」と言い人間回復の橋と呼ばれています。長い入所者運動の末に入所者が勝ち取った橋で、「終生絶対隔離からの解放の証」として橋は入所者に生きる希望を与え、開通したときに行われる「渡り初め式」に長島側からは多くの入所者や医療従事者が渡りました。「入所者が渡ることを許されなかった」は誤りです。今では、長島は人権学習の場として多くの人が橋を渡って訪れるようになっています。
ご指摘ありがとうございました。お詫びして訂正いたします。

※詳しくは、実施館、主催者にお問合せください。

地　域
交流事業

いきいきサロン



「手軽に作れて映える！　おうちクリスマス料理」

【日　時】　11月 27日(金)10時～12時
【会　場】　かんなべ市民交流センター　3階創作室
【内　容】　クリスマスが楽しみになるご馳走メニューです♪一緒に楽しく作りましょう。
【講　師】　蔵本　博美さん(地域活動栄養士)
【定　員】　10人（要申込）　【対　象】どなたでも
【参加費･材料費】　700円(キャンセルの場合は3日前から材料費をいただきます)
【持ってくるもの】　エプロン･三角巾･マスク･お手拭き･米1/2合
【問合せ】　中条交流館神辺西コミュニティセンター
TEL　084-962-2410

展示のお知らせ

●登録者数・通知件数
・登録者数　4,376人
・通知件数　5,855人
（2026年8月末現在）

知っていますか？

登録型本人通知制度





かんなべ市民交流センター1Fエントランスに10月20日まで展示していますのでご覧ください。

かんなべ図書館　　TEL084-962-5053

移動図書館車わくわく号がやってきた！

【日　時】　10月31日(土)　10時～15時
【ところ】　かんなべ図書館　駐車場･おはなしコーナー
【内　容】
《10時から15時》本を借りよう　わくわく号の本が借りられます。
《10時から15時》ペーパークラフトでわくわく号を作ろう。はさみを使わない工作です。
《14時から14時30分》のりものや図書館をテーマにした読み聞かせを行います。
黄色い車体が目印の「わくわく号」にぜひ、会いに来てください！



【問合せ先】かんなべ図書館　TEL　084-962-5053

展示　「生誕100年！絵本界のBIG3」

10月21日(水)から11月16日(月)まで

【ところ】　かんなべ図書館　玄関フロア
【内　容】
今年で生誕100年を迎える絵本作家の松居直、安野光雅、かこさとしと、それぞれの作品について紹介する。また、創刊70周年となる福音館書店出版の「こどものとも」のほか、長年親しまれてきた絵本などについての展示を行う。読み継がれてきた絵本の魅力に触れてみませんか？



【開館時間】
月～金 10時～19時 ／ 土･日･祝 10時～18時　　【10月･11月の休館日】 10/20(火)･11/17(火)

神辺を見つめて

《迫山古墳群》　神辺町大字湯野迫山の丘陵南斜面に11基からなる迫山古墳群があります。その中の１号古墳は、直径19m、高さ5mの円墳で、県内最大級の全長11.6mの横穴式石室を有しています。

多くの副葬品が出土しましたが、環頭太刀など大和政権の影響を示す貴重な副葬品も出土しています。

この古墳は六世紀末に豪族の墳墓として造られたと推定され、当時の社会を考える上できわめて貴重な文化遺産です。

現在は、年2回の町内会の共同作業により円墳の周囲の草刈りや山道の整備により保存が守られています。



【写真は作業終了後、１号古墳の入り口で古墳を眺めている町内会の人たち】

提供　神辺美術協会 (S.T)